

第二編 議事進行手續

目次

第二編 議事進行手續	一八七頁
第一章 幹部會及一般委員會	一八七
第二章 諸委員會ノ議事手續	一九二

第二編 議事進行手續

第一章 幹部會及一般委員會

一、四月十日幹部會

三月二十九日議長ヨリ四月十日幹部會（非公開）ヲ召集シ議長ノ外交々涉經過ニ關スル陳述及一般委員會議題準備ノ討議アル旨通知越シ豫定ノ如ク四月十日幹部會開催セラレタリ然ルニ外交々涉尙未タ繼續中ニシテ且成果見ルヘキモノナキ爲結局幹部會ヲ四月三十日ニ又情勢如何ニ依リテハ其ノ二三日後トシ一般委員會ハ五月二十三日トスヘキモ之又情勢如何ニ依リ數日召集ヲ遅ラシ得ルコトニ決定シタリ

二、幹部會ノ延期及其ノ召集並一般委員會ノ召集

然ルニ四月十七日佛國ノ對英回答ハ外交々涉ノ失敗ヲ意味スルモノト解セラレ四月二十三日議長ヨリ幹部會委員ニ對シ最近ノ事態ニ鑑ミ最早ヤ幹部會開催ノ利益ナキカ如ク若シ必要アルニ於テモ一般委員會ノ前日又ハ同日ニ開催スヘシトノ提言アリ幹部會ヲ五月二十九日午前一般委員會ヲ同日午後開催スルコトニ異議ナキヤ電報ニテ照會セリ我方トシテ固ヨリ異議ナク之ニ賛成ノ旨回答シ置キタリ

三、五月二十八日幹部會、五月二十九日乃至六月一日ノ一般委員會

幹部會ハ五月二十八日開催セラレタルカ何等實質的討議ニ入ラス

一般委員會ハ同月二十九日ヨリ六月一日迄一般討議ヲ行ヒ主要關係國代表ハ其ノ立場ヲ説明シ今後ノ會議手續ニ關シ意見ヲ表明シ或ハ提案ヲナシタリ

右討議中米ハ軍縮一般協力ノ成立ニ努力スルノ意思アルヲ述ヘ不侵略ノ一般協定締結ノ商議、「フーヴァー」案ノ方法ニ

依ル軍縮殊ニ人員算定方法、比例の海軍々縮、有效ナル監督、武器取引及製造ノ國際の取締等ヲ可ナリトシ蘇聯ハ軍縮會議ヲ變シテ安全會議トナスコトヲ主張シ又英ハ從來ノ成果ヲ具體化スル爲既ニ一致セル點ニ付新ニ互讓シ或協定ニ達シ得サルヘキヤ少クトモ化學戰、豫算公表、常設軍縮委員會ノ三點ハ既ニ熟シ居レリトノ意見ヲ述ヘタルカ佛ハ一月一日ノ佛覺書ニ在ル佛提案ヲ考慮シ會議ヲ續行スヘシト論ス

其ノ他瑞典ハ丁、西、愛、諾、瑞典、瑞西ノ六國代表ノ名ヲ以テ、四月十四日ノ共同覺書ノ見解ヲ維持スルモノナルコトヲ聲明シ會議手續ニ關スル決議案(第一編第四章第一項參照)ヲ提出シ土又會議手續ニ關スル決議案(第一編第四章第一項參照)ヲ提出シ小協商希臘之ヲ支持ス

四、六月四日乃至六日ノ幹部會

以上一般委員會ノ一般討議後、六月四日幹部會(非公開)開催セラレタルカ右ニ先チ蘇聯ノ提案(第一編第四章第二項參照)アリ

幹部會ニ於テハ今後ノ會議手續ニ關シ紛糾シタルカ前編經過概要ニ既述セルカ如ク英ハ安全問題ニ關スル委員會設置若ハ會議變更ノ決議案ニ反對の態度ヲ示シ米ハ安全問題ハ獨逸參加シ居レハ一層容易ニ解決セラルヘク條約履行ノ保障問題ハ會議全體ニテ審議セラルヘキモノナルモ地方的協定ハ全部ニ依リテ討議セラルヘキモノニ非サルヘシト云ヒ會議繼續ニハ強テ反對セス佛、蘇等ハ他ク迄安全問題ヲ主題トシテ會議ヲ繼續セシメムコトヲ欲シタリ結局蘇ハ土、蘇及六國提出ノ決議案ヲ打テ一案トスル起草委員會ヲ作ルヘシト主張シタルモ米ハ議長及事務總長ニテ案文ヲ作成スヘシト云ヒ英モ懷疑の態度ヲ示シツツ米ヲ支持シタリ依テ議長ハ議長、「ポリテイス」、「ベネシユ」及決議案提出ノ三ヶ國ニ加フルニ私の會談國タル英、佛、伊ヲ加ヘタル起草委員會ヲ作り一般委員會ノ採決スヘキ今後ノ「プログラム」ニ關スル何等ノ提案ヲナサシムルコトヲ諮リタルモ英ハ起草委員會ノ執ルヘキ方針明瞭ナラストシ伊ハ不参加ヲ聲明シ佛又參加ヲ辭シタリ翌五日議長ハ自ラ決議案(第一編第四章第二項參照)ヲ提出シ洪、波及西ノ意見ヲ容レテ二三ノ修正ヲ加ヘタル

カ英ハ新修正案ヲ不可ナリトシ伊モ亦不同意ヲ稱ヘ佛ハ議長決議案カ安全問題ヲ第二次的ニ取扱ヘルモノトシテ議長案ニ不服ヲ唱ヘ議長又佛ノ態度ニ憤慨シテ辭意ヲ洩シ佛ニ公平ナル決議案ノ提出ヲ迫リ佛ハ其ノ言質ヲ與ヘサリシカ結局六日幹部會ニ佛ハ決議案(第一編第四章第二項參照)ヲ提出シタリ依テ議長モ和解の態度ヲ示シ議長ハ諸決議案ヲ調整スル起草委員會ヲ作ランコトヲ提議シタルカ米ハ今直ニ起草委員會ヲ作ルコトヲ尙早ナリトシテ其ノ設置ニ反對シタル爲八日午前迄幹部會ヲ延期シ其ノ間ニ關係國間ニテ下相談ヲナシ同日午後一般委員會ヲ開催スルコトニ決定ス尙議長ハ佛ノ希望ニ満足ヲ與ヘ幹部會ヲ公開センコトヲ諮リ可決セラル

五、六月八日幹部會

六日來米ヲ斡旋者トシテ英佛間ニ商議行ハレタル結果妥協成立シ八日午後幹部會ニ於テ佛ハ後述修正決議案ヲ提出シ議長ハ自分ノ決議案ヲ撤回シタル處伊ハ政治問題ノ解決前ニ會議ヲ開ク能ハストノ原則ヲ執リ諸委員會ニ對シテ「オブザーヴアール」ノ態度ヲ執ルヘキコトヲ豫告シ又波ハ外交々々關係ノ交換文書ハ未タ一般委員會ニ於テ審議セラレ居ラサルヲ以テ其ノ内容ニ付テ波ハ其ノ態度ヲ束縛セラル、モノニ非サルコトヲ述ヘタルカ幹部會ハ右決議案ヲ一般委員會ニ勸告スルコトヲ決定ス

六、六月八日一般委員會ト其ノ決議

幹部會ニ引續キ一般委員會開催セラレ伊、波ノ留保ノ下ニ佛國提出ノ修正決議案ヲ採擇シタリ右決議左ノ通

六月八日決議(佛修正決議案)

一般委員會ハ

六國、土並蘇各代表部ノ提出セル決議案ヲ考慮シ

一九三四年一月一日ノ佛覺書、一月四日ノ伊覺書、一月二十九日ノ英覺書及四月十六日ノ獨逸宣言ノ齋セル「ブレシジョン」ヲ考慮シ

軍縮一般條約ニ到達スル爲會議繼續ノ必要ヲ確信シ遲滯無ク既ニ着手セラレタル研究ヲ續行スルコトヲ決心シ

一、

幹部會ニ對シ適當ナリト認ムル方法ニ依リ且軍縮條約ノ一般の受諾ノ爲未解決ナル諸問題ノ解決方法ヲ攻究センコトヲ要請ス但シ右ハ或政府カ獨逸ノ會議復歸ニ依リ最終ノ成功ヲ克チ得ンコトヲ容易ナラシムル爲行ハント欲スル私的會談ヲ害スヘカラス

二、

一般討議ノ當初ニ於テ注意ノ向ケラレタル或種問題ノ研究及解決ノ特ニ重要ナルヲ考慮シ左記ヲ決定ス

(一) 安全保障

(イ) 會議初期ノ研究ノ結果一年來歐洲ニ於テ數個ノ地方の安全協定成立セルニ鑑ミ一般委員會ハ會議外ニ於テ行ハルヘキ同種ノ新協定締結ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ適當ナル豫備の研究ヲ續行スル爲特別委員會ヲ設ク是等協定ト一般條約トノ關係アラハ右ハ一般委員會ニ於テ決定ス

(ロ) 一般委員會ハ條約履行保障及監督問題審議續行ノ爲特別委員會ヲ設ク

(二) 空軍

一般委員會ハ空軍委員會ヲシテ一九三二年七月二十三日決議ノ空軍ノ項ノ下ニ擧ケラレタル諸問題ヲ研究セシム

(註) 一、市民ニ對スル爆撃ノ絕對禁止 二、有效ナル措置ニ關シ協定成立スルニ於テハ空爆ヲ全禁スルコト

(右措置中ニハイ軍用機ノ機數及性能ノ制限(ロ)民用機ノ規制及公表並長用機ノ國際化(之ニ適セサル地方ハ除ク)ヲ含ム)

(三) 一般委員會ハ武器取引及製造問題ニ關シ其ノ特別委員會ニ對シテ仕事ヲ再開シ一九三四年五月三十日ノ會合ニ於テ米國代表ノ爲シタル聲明ヲ考慮シテ成ル可ク速ニ其ノ可ナリトスル解決方法ヲ報告センコトヲ要求ス
是等ノ委員會ハ平行シテ其ノ仕事ヲ行ヒ且幹部會ニ依リ調整セラルヘキモノトス

三、

一般委員會ハ幹部會ニ對シ議長カ一般委員會ヲ召集スル時ニハ能フ限り完全ナル條約案ヲ手ニシ得ルコトヲ確ニセンカ爲適當ナル時機ニ必要ナル措置ヲ執ルコトヲ委託ス

四、

會議ヲ平和會議ノ名稱ノ下ニ常設機關ニ變更スヘシトスル蘇聯ノ提案ハ慎重ナル研究ヲ要スルモノナルコトヲ認め一般委員會ハ議長ニ對シ右提案ヲ各國政府ニ附議センコトヲ要求ス

七、六月十一日一般委員會

六月十一日一般委員會ヲ再開シ六月八日決議實行手續ニ付討議ヲ行ヒ左記手續ヲ決定ス

(一) 委員會ノ構成

(イ) 相互援助協定問題ノ安全委員會ハ「ポリチス」ヲ議長トシテ全歐洲諸國ヲ以テ組織ス伊及洪ハ「オブザーヴァー」タルコトヲ聲明ス

議長ハ本委員會ノ委任ハ限定セラレ居ラス歐洲地方協定カ出來タル後他地方ノ研究ニ移ルヘク歐洲外ノ國ノ參加差支ヘ無キモノトスル了解ノ下ニ構成セラル、モノナルコトヲ明カニス

(ロ) 條約履行及監督問題ニ付テハ「ブルカン」ヲ議長トスル監督委員會ニ之ヲ研究セシメ從來ノ參加國ニ和蘭ヲ加ヘ且「ブルカン」ニ於テ再必要ト認ムル際ハ他ノ國ヲ加フルコトヲ得ルモノトス伊及洪ハ「オブザーヴァー」

(ハ) 空軍問題ハ「マダリアガ」ヲ議長トスル「コミテ、アエリアン」ニテ研究セシム

(ニ) 武器取引及製造問題ハ「デ、スカヴェニユース」ヲ議長トスル取引及製造委員會ニテ研究セシム從來ノ參加國ニ瑞西及「ヴェネゼラ」ヲ加フ

(二) 國防費公表

國防費委員會議長「ヴァスコネロス」ノ提議ニ從ヒ専門分科會ノ公表案ニ從ヒ各國ヨリ十月十五日迄ニ最近ノ豫算年度ニ關スル文書ヲ送付センコトヲ勸告ス

(三) 幹部會

幹部會ハ當分外交々渉ノ進行ヲ俟ツコト、シ若シ關係國政府カ之ヲ遲延スル場合ニハ自ラ活動スヘク特別事項ニ關係アル國ハ何國モ幹部會ニ招致セラルヘシ

第二章 諸委員會ノ議事手續

一、條約履行委員會

條約履行保障委員會ハ六月十三日非公開ニテ開催監督委員會ノ各參加國及和蘭委員ニ瑞典及「ユーゴスラヴィヤ」委員ヲ追加ス議事手續ニ付討議ノ結果私的會談ヲ行ヒ討議ノ基礎ヲ見出シ技術的方面ヲ審議スルコトニ決定シタルヲ以テ議長「ブルカン」ハ主要關係國委員ト私的會談ヲ行ヒ其ノ結果ニ基キ保障方法ノ大綱ニ付「ノート」ヲ作成シタリ依テ六月二十八日委員會ヲ再開シ右議長「ノート」ニ修正ヲ加ヘ之ヲ議長「ヘンダーソン」ニ送付シ右ニ付各委員ニ於テ政府ノ意向ヲ尋ネ考究ヲ遂ケタル上委員會ヲ續行スルコトニシテ散會ス

二、安全問題特別委員會

安全問題特別委員會非公開ハ十八日ヨリ正式ニ會合シ西、芬、佛、和、波、英、土、「ユーゴスラヴィヤ」、蘇、洪（「オプザージアー」）ノ代表ヨリ成ル専門委員會ヲ組織シ相互援助保障ノ地方協定問題ヲ研究セシメ六月二十五日相互保障條約ノ模範的形式ヲ勸告セル同専門委員會ノ報告ヲ採擇シ閉會ス

三、武器取引及製造委員會

武器取引及製造問題ニ付テハ六月十五日米ヨリ英佛等數代表者ニ對シ意見書ヲ提示セルヲ以テ同十九日二十二日及二十

六日ノ三回ニ互リ主要武器生産國委員會合シ米ノ意見書ヲ討議ノ基礎トシテ意見ヲ交換シ且之ニ基キ報告者「コマルニスキー」ノ作成セル條文案ヲ武器製造分科會ニ提出ス同分科會ハ二十七日ノ會合ニテ右條文案及二十九日ノ會合ニテ「コマルニスキー」作成ノ報告案ヲ審議採擇シ右兩案ヲ武器取引及製造委員會ニ提出セルヲ以テ同委員會ハ七月二日會合シ右條文案及報告ヲ採擇セリ

四、空軍委員會

事務局側ハ空軍委員會ノ議長「マダリアガ」ノ都合ヲ名トシテ同委員會ヲ召集セス